



株主通信

セコム株式会社

第62期決算報告



Top Message

社会と共に持続的な成長を目指し、 Road Map 2027を新たに策定

当期の経営成績、多様化・高度化する安心ニーズへの取り組み状況、5月に策定した「セコムグループ Road Map 2027」について、社長の尾関一郎からご説明いたします。

セコム株式会社 代表取締役社長 **尾関 一郎**



当期の経営成績

当期のセコムグループの経営成績は売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも当初の計画を上回り、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新することができました。

これは、ウィズコロナにおける経済社会活動の影響を受けながらも、きめ細やかで切れ目のないサービスをお客様にお届けしてきた結果です。

多様化・高度化する安心ニーズへの取り組みについて

社会課題が複雑化・複合化する中で、セコムは多様化・高度化する安心ニーズにお応えする、さまざまな取り組みを行っています。

ご家庭向けでは、ロボットを使ったシニア向けのコミュニケーションサービス「あのね」、セコムへの緊急通報と日々の健康管理ができる「Apple Watch」専用のアプリ「YORISOS（よりそす）」を発売しました。企業向けでは、システムセキュリティ「AZ」「AZ-Air」のカメラ機能を拡充して拡販を図ったほか、入退室管理システム「AZ-Access」を発売しました。

これからも、長年培ってきた技術力・経験を活かし、お客様一人ひとりの不安やお困りごとを解決できるサービスの創出を目指していきます。

「セコムグループ Road Map 2027」について

「安全・安心・快適・便利」な社会の実現に向けて策定した「セコムグループ2030年ビジョン」のもと、「セコムグループ Road Map 2022」では、「テクノロジーの進化」「労働力人口の減少」により高まる社会のニーズをビジネスチャンスと捉え、新たなサービスを創出するとともに、システムや人への投資も進め、成長を加速させてきました。

そしてこのたび、成長をさらに確かなものにするため、5月に「セコムグループ Road Map 2027」を策定。「テクノロジーの進化」「労働力人口の減少」に加え、「体感治安の悪化」「自然災害の頻発化・激甚化」をはじめとするさまざまな課題が深刻化していることを踏まえ、「見守り・セキュリティ」「海外」「BPO・ICT」「生産性向上」「ステークホルダー」の5つを重点施策に掲げ、2027年に向けてセコムグループが目指すべき方向性を明確化しました。

高度な技術と豊富なノウハウを活かしてサービスの価値を最大化するとともに生産性向上を実現し、すべてのステークホルダーから選ばれる会社づくりを推進していきます。

最後に、株主の皆様へ

不確実性が増す今日において、社会課題やリスクは多様化・深刻化しています。セコムでは、さまざまなニーズに先んじてこれらを解決していくサービスを提供することで、確かな「安全・安心」をお届けしながら社会とともに持続的な成長を目指していきます。

今後とも、私たちセコムグループにご期待・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

コミュニケーションサービス「あのね」を発売 ロボットとの会話でシニアの孤独解消を手助け

セコムは4月、(株)ディー・エヌ・エー (以下、DeNA) と、ロボットを使ったシニア向けのコミュニケーションサービス「あのね」を発売しました。

「あのね」は、セコムとDeNAが開発したシステム上でユカイ工学(株)のコミュニケーションロボット「BOCCO emo」を使用して、シニアのQOL (Quality of life = 生活の質) 向上を目指すサービスです。



「BOCCO emo」を使用して声がけを行うサービス「あのね」

朝・昼・夜などご利用者の生活リズムに合わせて1日約10回定期的なお声がけを行い、服薬の時間のお知らせといった注意喚起、雑学情報などを日替わりで配信します。

ご利用者からの話しかけには、コミュニケーションターが内容に応じた返信をするので自然なおしゃべりが可能。いつも誰かとつながっている安心を感じていただきながら孤独の解消を図り、認知機能や身体機能の低下をはじめとするリスクの低減を目指します。

すぐに使えるよう「BOCCO emo」は「あのね」仕様にカスタマイズしており、電源を入れるだけで簡単に使用できるほか、人を検知した時だけ発話するなど、シニアの方が受け入れやすい設計です。

今後もセコムは、想いを共にするパートナーとさまざまな社会課題を解決するサービスを創出していきます。

セコムへの緊急通報と健康管理ができる 「Apple Watch」専用の「YORiSOS」を配信

セコムは4月、日本初となる「Apple Watch」の転倒検出機能と連携したセコムへの緊急通報と、日常の健康管理ができる「YORiSOS（よりそす）」アプリの配信を開始しました。



「YORiSOS」アプリのApple Watchアイコン(左)とiPhoneホーム画面(右)

「YORiSOS」は「セコム・ホームセキュリティ」のお客様向けの「Apple Watch」と「iPhone」の専用アプリです。

緊急通報では、身の危険を感じた時や具合が悪くなった時に本アプリからセコムへ通報するとオペレーターから電話が入り、緊急対応員による駆け付けなどを要請できます。また、「Apple Watch」が激しい転倒を検出すると必要に応じて119番に電話する「Apple Watch」の本来の機能に加え、連携して起動する本アプリからセコムに通報することが可能です。

健康管理では、「Apple Watch」で記録した歩数、睡眠時間のデータと目標値に対する達成度が「iPhone」の本アプリ上に表示されます。1週間分の結果がレポートとして通知されるほか、不規則な心拍、激しい転倒などがみられる場合は早めの相談や対策を促します。

セコムはこれからも、培ってきた経験・ノウハウと「Apple Watch」および「iPhone」のテクノロジーを融合したサービスを拡充していきます。

優れた安全性と環境性能を両立したデータセンター 「セキュアデータセンター東京第4センター」を新設



「セキュアデータセンター東京第4センター」の完成イメージ

セコムグループでBPO・ICT事業を担うセコムシステムズ(株)は、東京都内に新たなデータセンター「セキュアデータセンター東京第4センター」を新設し、2025年6月からサービス開始の予定です。

セコムシステムズは2000年からインターネット社会での「安全・安心」を支えるため、高度なセキュリティを誇る「セキュアデータセンター」を運用し、お客様のニーズに応じたサービスを提供しています。

このたび新設する本データセンターは、セコムの常駐警備員と最新のセキュリティシステム、認証装置を組み合わせ、エントランスから廊下、サーバー室内までセコムグループならではの高度なセキュリティで厳格に管理します。

本施設は、太陽光発電、風力発電など自然エネルギーを取り入れるなどして、再生可能エネルギー100%使用とするほか、屋上や壁面の緑化も行い周辺環境に配慮したデザイン・設計です。免震構造により震度7の地震発生時でも継続してデータセンターの機能を維持できるため、災害時も安心してご利用いただけます。

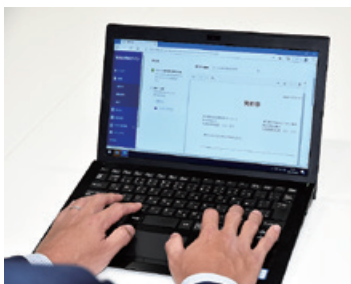
セコムシステムズはこれからも、優れた安全性と環境性能を両立したデジタル社会のインフラとしての役割を果たしていきます。

安全で簡単な電子契約サービス 「セコムWebサイン」を発売

セコムグループでBPO・ICT事業を担うセコムトラストシステムズ(株)は昨年10月、安全で簡単な電子契約サービス「セコムWebサイン」を発売しました。

昨今、業務の効率化やDX推進などにより電子契約サービスを導入する企業が急速に増加し、契約時の身元確認がサービス選定のポイントの一つにあげられています。

本サービスでは、契約者の身元確認に名刺や社員証を利用し、契約者それぞれが電子証明書を用いて電子署名を行う「当事者署名方式」を



長年の経験と豊富なノウハウを活用した「セコムWebサイン」

採用しているため、万一の係争時にも証拠性を担保することが可能です。

契約を締結する際は契約書のPDFファイルの内容を確認して署名ボタンを押すだけの簡単な操作で完了。長年にわたり認証局を運用してきた経験と電子契約サービスを提供してきた豊富なノウハウを活用し、手続きの簡略化と導入コストの削減を実現しました。

お客様のデータは、24時間365日セキュリティのプロが常時監視を行っているセコムトラストシステムズの「セキュアデータセンター」で安全にお預かりします。

今後もセコムトラストシステムズは、本サービスの提供を通して、いざというときにも安心できる電子契約をお届けしていきます。

「ジャパン・レジリエンス・アワード」を9年連続で受賞 ドローン活用の公共インフラ巡回監視が「準グランプリ」

セコムは4月、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催する「第9回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」の企業・産業部門で「準グランプリ」「優秀賞」「優良賞」を受賞しました。



ジャパン・レジリエンス・アワード

2023

3つの賞を受賞した
「ジャパン・レジリエンス・アワード」

「ジャパン・レジリエンス・アワード」は、次世代に向けた“強靱化（レジリエンス）社会”を構築するための先進的な活動を評価し、表彰する制度です。セコムは2015年の第1回より毎年、各賞を受賞しています。

今回「準グランプリ」を受賞したのは、自律飛行型の「セコムドローン」の技術を活用して、上下水道処理施設など社会インフラの巡回監視を自動化・省力化する新たなビジネスモデルの実現を目指す取り組みです。セコムの技術力と、3次元計測や航空測量の高い技術力を有するセコムグループの(株)パスコの強みを活かした先進性が高く評価されました。

さらに、防犯や防災のノウハウを活かした安全啓発活動が「優秀賞」、窓枠ごとサッシ交換が可能な「SECOMあんしんそと窓」が「優良賞」を受賞しました。

今後もセコムは、社会の「安全・安心」に貢献するサービス・商品の開発に取り組み、「国土強靱化」に貢献していきます。

CDPサプライヤー・エンゲージメント評価で 3年連続、最高評価の「リーダー・ボード」を獲得

セコムは3月、国際的な環境NGOのCDPが2022年に実施した気候変動質問書のサプライヤー・エンゲージメント評価において、3年連続で最高評価である「リーダー・ボード」に選定されました。

この評価は、企業のサプライチェーン全体での気候変動に対する取り組みを、「ガバナンス」「削減目標」「スコープ3*」「サプライヤーとのエンゲージメント（協働）」の4分野から評価し、特に優れた取り組みを行っている企業を「リーダー・ボード」として認定しています。今回は、評価対象企業の上位8%にあたる653社（うち、日本企業131社）が選定されました。

セコムは、安全で快適な暮らしの実現には地球環境の保全が不可欠であると認識し、「社業を通じ社会に貢献する」という企業理念のもと、環境に配慮した事業活動を実践。主要サプライヤーに温室効果ガス排出量の算定と削減を求め、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出削減に努めてきました。昨年12月にはCDP2022の気候変動質問書の評価において、最高評価となる「Aリスト企業」にも選定されています。

これからもセコムは、取引先などのステークホルダーの皆様と協力し、共に脱炭素社会の実現を目指していきます。

※サプライチェーンでの温室効果ガス排出量

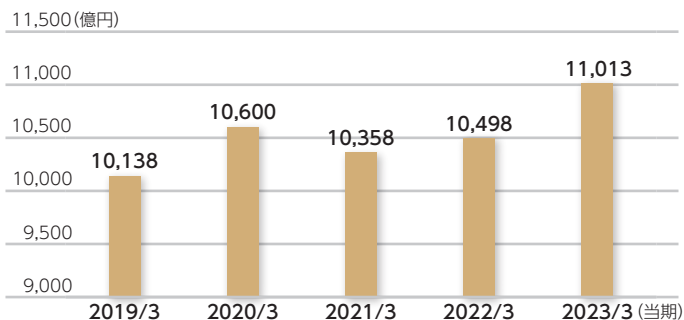


環境に配慮した事業活動が
評価につながった

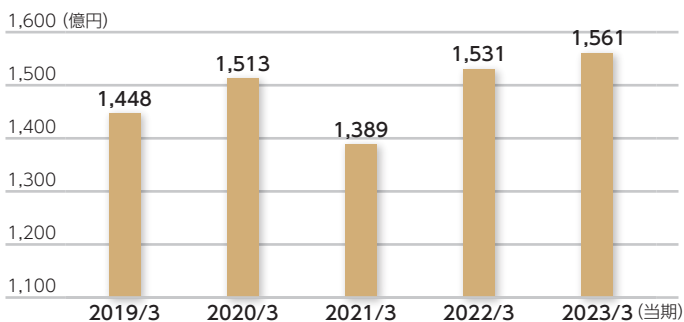
Review

連結決算 業績ハイライト

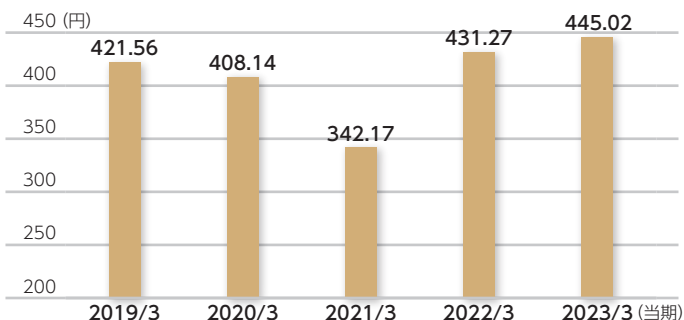
● 売上高



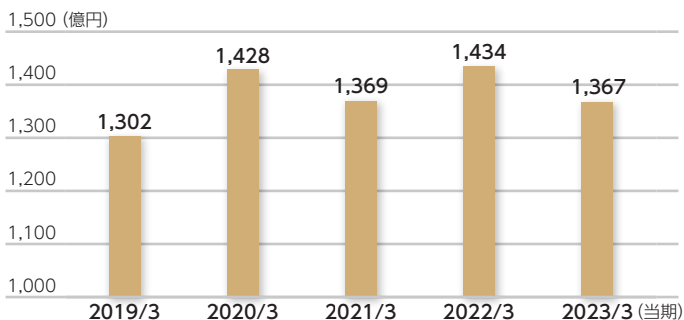
● 経常利益



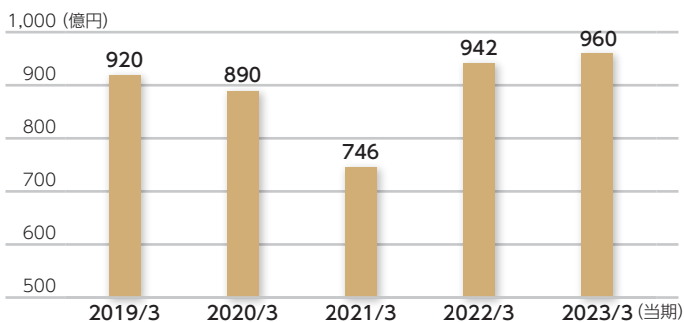
● 1株当たり当期純利益



● 営業利益



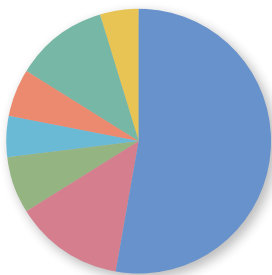
● 親会社株主に帰属する当期純利益



● 事業別売上高内訳 2023/3 (当期)

(億円)

● セキュリティサービス事業	5,833	53.0%
● 防災事業	1,456	13.2%
● メディカルサービス事業	776	7.1%
● 保険事業	555	5.0%
● 地理空間情報サービス事業	620	5.6%
● BPO・ICT事業	1,280	11.6%
● その他事業	489	4.5%



Review

● 営業の概況（連結）

当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日、以下、「当期」）の日本経済は、ウィズコロナのもとで、経済社会活動の正常化が進み、企業収益の改善や個人消費などで緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方、不安定な国際情勢、供給面での制約や物価上昇、世界的な金融引締め等による経済の下振れリスクと金融資本市場の変動等の影響などに留意が必要な状況が続きました。

このような状況において、当社グループは、「安全・安心・快適・便利」な社会を実現する「社会システム産業」の構築を目指す中で策定した「セコムグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、各種取り組みを進めております。

2022年6月には、成田国際空港や大型複合施設の警備において、AI・5Gなどの最先端技術を活用して立哨・巡回、点検業務などを行うセキュリティロボット「cocobo（ココボ）」の提供を開始しました。また、7月には、常駐警備業務や機械警備業務をはじめ、航空保安業務、車両運行管理業務等の広範にわたる事業を全国的に展開する（株）セノンを子会社化しました。さらに、2023年3月には、コミュニケーションロボットを活用してシニアの孤独解消を手助けするサービス「あのね」を4月から販売開始することを発表しました。本サービスを通じて、シニアの方にいつも誰かとつながっている安心感を感じていただきながら、孤独の解消を図り、認知機能や身体機能の低下などのリスクの低減を目指してまいります。

このように、当期もさまざまな取り組みを通じて、ますます多様化・高度化するお客様の安心ニーズに対し、きめ細やかな切れ目のないサービスの提供に努めました。

これらの結果、当期における売上高は1兆1,013億円（前期比4.9%増）、営業利益は1,367億円（同4.7%減）、経常利益は1,561億円（同1.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は960億円（同1.9%増）となり、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新しました。

Profile

● 会社概要



セコム株式会社

設立 …… 1962年7月7日

所在地 …… 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前1-5-1

資本金 …… 664億円

- グループ総会社数 (セコム(株)含む) …… 175社
連結子会社数 …… 158社
持分法適用関連会社数 …… 16社
- グループ総社員数 …… 71,177名
(2023年3月31日現在)

取締役 (2023年6月27日現在)

代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	栗原達司
取締役 (社外)	廣瀬篁治*
取締役 (社外)	渡邊 元*
取締役 (社外)	原 美里*

監査役 (2023年6月27日現在)

監査役 (常勤)	伊東孝之
監査役 (常勤)	辻 康弘
監査役 (社外)	加藤秀樹*
監査役 (社外)	安田 信*
監査役 (社外)	田中節夫*

*印の6名を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。

執行体制 (2023年6月27日現在)

● 取締役

代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	栗原達司

● 執行役員

常務執行役員	古川顕一
常務執行役員	泉田達也
常務執行役員	上田 理
常務執行役員	山中善紀
常務執行役員	杉本陽一
常務執行役員	福満純幸
常務執行役員	永井 修
常務執行役員	佐藤貞宏
執行役員	進藤健輔
執行役員	桑原靖文

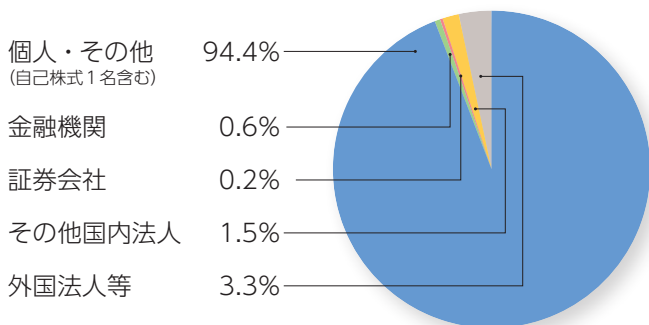
執行役員	福岡規行
執行役員	赤木 猛
執行役員	長尾誠也
執行役員	植松則行
執行役員	小松 淳
執行役員	千田岳彦
執行役員	中田貴士
執行役員	森田通義
執行役員	稲葉 誠
執行役員	杉本敏範
執行役員	荒木 総
執行役員	滝沢 聡
執行役員	澤本 泉
執行役員	久保田顕
執行役員	内藤昌彦
執行役員	喜連新治
執行役員	竹澤 稔

Information

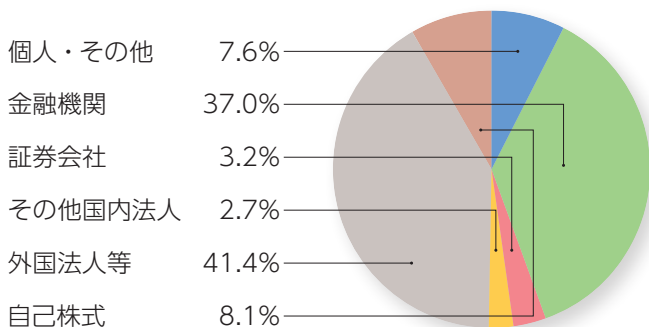
● 株式の状況 (2023年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 …………… 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 …………… 233,299,898株
3. 単元株式数 …………… 100株
4. 株主数 …………… 24,202名
5. 所有者別状況

● 株主数比率



● 株式数比率



● 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主優待制度 3月31日現在における当社株式100株以上保有の株主様に、当社グループで利用可能な優待券を贈呈。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告
<https://www.secom.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

● 株式に関する各種お手続きについて

- 証券会社に口座がある株主様は… ▶ 口座がある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株式の株主様は… ▶ 下記の特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。
- 未払い配当金のお支払いに関するお問い合わせは… ▶ 下記の株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部


ご郵送先

〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きに関するお問い合わせ

 **0120-232-711**

[平日9:00~17:00]

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

会えない。
だけど、
見守りたい。

離れて暮らす父や母に、なかなか会えない今だから。
毎日の暮らしを、スマホでそっと見守る。
もしもの時は、私に代わってすぐ駆けつけてくれる。
その安心は、ずっと見守ってくれた親へのひとつの恩返しでも
あると思うのです。いつまでも元気で過ごしてほしいから、
そばにいたような安心を。あなたを思う、その人に。

セコム、していますか？

☎ 0120-756-892 (9時～18時 年末年始を除く)



セコム 検索

〈表紙写真のご説明〉

ロボットを使ったシニア向けのコミュニケーションサービス「あのね」(上)と、セコムへの緊急通報と日常の健康管理ができる「YORISOS (よりそす)」アプリ(下)



本誌は環境に配慮し、FSC® 認証紙および植物性インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に
基づき、より多くの人へ適切に情報を伝え
られるよう配慮した見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。